



# MR(麻しん・風しん混合) 任意接種費用の全額助成

MRワクチンは定期予防接種として、2回接種する機会がありますが、定期接種の対象年齢を過ぎてしまうと、「任意接種（保護者の判断で接種するかどうか決めるもの）」となります。品川区では、MRワクチンを任意接種される方に接種費用の全額を助成します。

## ■対象者

### 2歳～19歳未満で、定期接種を受けられなかった方

2歳以降、年長になる前 MR1期が未接種の方  
小学生以上、19歳未満 MRワクチンを1回しか受けていない方

■費用 **無料** ただし、有効期間内に契約医療機関で接種した場合に限ります。

## ■接種の受け方（助成の受け方）

品川区が発行する予防接種予診票と母子健康手帳を医療機関に持参して接種します。

**STEP1** 母子健康手帳を持って区役所または保健センターへお越しください。予診票を交付します。

**STEP2** 同封の品川区内の契約医療機関で接種予約をお取りください。  
※他市区町村の医療機関や、品川区内でも契約のない医療機関で接種した場合は全額自己負担となります。

**STEP3** 接種日当日、予防接種予診票と母子健康手帳を持参して接種します。

## ■注意事項

- ▶ 予防接種法に基づかない任意予防接種は、万一ワクチン接種による健康被害が発生した場合でも、予防接種法の被害救済の対象にはなりません。
- ▶ ただし、薬機法で承認されたワクチンを使用した場合に限り、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく、副作用救済給付が適用されます。
- ▶ 日本国内で販売承認されていないワクチンは、救済制度の対象になりません。接種時に医師に確認をしてから接種を受けてください。
- ▶ 妊娠をしている女性および妊娠している可能性がある女性は接種を受けることができません。風しんを含むワクチン接種後は、少なくとも2ヶ月間避妊が必要です。

### ■麻しんとは

麻しん（はしか）は、ウイルスの感染によっておこる急性発疹性の感染症です。約10日～12日の潜伏期のあとに、鼻水、咳、結膜充血等とともに発熱します。数日間この状態が続いた後、いったん解熱するかにみえるものの再び高熱となり、全身性の発疹が現れて高熱はさらに4～5日続きます。麻しんに罹患した場合、特異的な治療法はありません。

### ■風しんとは

風しんは、ウイルスの感染によっておこる急性熱性発疹性です。2～3週間の潜伏期のあとに、発疹、発熱、リンパ節腫脹が認められます。約15%～30%の人は不顕性感染で終わります。症状は比較的軽いですが、妊娠20週頃までの妊婦に感染すると、出生児が難聴、先天性心疾患、白内障等を発症する可能性があります。

### ■ワクチンの効果

- ◆ 母親が免疫を保有していても、生後4～6か月で受け継いだ抗体はほぼ消失し、6か月を過ぎると罹患する可能性があります。ただし、1歳前に接種した場合のワクチンの効果および安全性は十分に評価されていません。このため、1歳を過ぎたらできるだけ早くMRワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)を接種することが重要です。
- ◆ 弱毒化が確かめられている生ワクチンで、0.5mlを皮下注射します。
- ◆ MRワクチンの接種による抗体陽転率は95%以上で、接種を受けた多くの人が抗体を獲得できると考えられます。

### ■ワクチンの副反応

MRワクチンの副反応の主なものとして、接種直後から数日中に過敏症状と考えられる発熱、発疹、そう痒等がみられることがあります。これらの症状は1～3日で治癒します。また稀に、ショック、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、急性散在性脳脊髄膜、脳炎・脳症、およびけいれん等がおきる可能性があります。

品川区保健所 保健予防課 ☎5742-9152

品川保健センター☎3474-2225 大井保健センター☎3772-2666 荏原保健センター☎5487-1314

# 品川区 子どもの予防接種

予診票に有効期間を記載しています。有効期間を超えた場合は、無料で接種はできませんのでご注意ください。

令和6(2024)年4月1日 現在

	通知時期	種類	接種回数	方法
定期 予防 接種	生後2ヶ月	五種混合 ジフテリア 百日せき 破傷風 不活化ポリオ Hib(ヒブ)	1期 初回	3回 生後2か月から20日以上の間隔をおいて3回 [標準]標準的には、20~56日の間隔をおいて接種
		小児用肺炎球菌	初回	最大3回 ① 開始日が生後2か月~6か月の方は3回接種(生後24か月まで。2回目の接種が12か月を超えた場合は3回目は接種しない) ② 開始日が生後7か月~1歳未満の方は2回接種(生後24か月まで) ③ 開始日が1歳以上2歳未満の方は60日以上の間隔で2回接種 ④ 開始日が2歳以上5歳未満の方は1回接種
		B型肝炎		3回 27日以上の間隔をおいて2回接種し、1回目の接種から139日以上の間隔をあけて3回目を接種(1歳誕生日の前日まで) [標準]生後2か月~8か月の間に3回接種
		ロタウイルス		2回(ロタリックス) 3回(ロタテック)
	生後5か月	B C G		1回 満1歳誕生日の前日まで1回 [標準]生後5か月~8か月
	1歳	Hib(ヒブ)	追加	1回 初回1回目を1歳までに開始された方のみ1回 [標準]初回完了後7~13か月の間隔をあけて1回
		小児用肺炎球菌	追加	1回 初回接種①および②の方1回(③および④の方は必要ありません) [標準]初回完了後60日以上あけて生後12か月~15か月までに1回
		四種混合 五種混合	1期追加	1回 1期初回完了後、6か月以上の間隔をあけて1回(7歳6か月にあたる日の前日まで) [標準]1期初回完了後1年~1年半あけて1回
		MR(麻しん・風しん)	1期	1回 1歳~2歳誕生日の前日までに1回
	3歳	日本脳炎※1	1回目	2回 1歳~3歳誕生日の前日までに、3か月以上あけて2回 [標準]1回目は生後12か月~15か月。2回目は1回目から6か月~1年あけて接種
2回目				
4歳		1期追加	1回 7歳6か月にあたる日の前日までに2回 [標準]6日から28日までの間隔をおいて2回。	
小学校就学1年前の 4月	MR(麻しん・風しん)	2期	1回 1期初回完了後6か月以上の間隔をあけて1回(7歳6か月にあたる日の前日まで) [標準]1期初回完了後、おおむね1年を経過した時期※2	
9歳	日本脳炎	2期	1回 小学校に入る前年度の3月31日までに1回	
11歳	DT(ジフテリア・破傷風)	2期	1回 9歳~13歳誕生日の前日までに1回※2	
6年生(女子のみ)	ヒトパピローマウイルス感染症 (子宮頸がん):HPV※3		3回 11歳~13歳誕生日の前日までに1回	
6年生(男子のみ)			3回※3 小学6年生から高校1年生相当の年度末までに3回※3 (ただし、1回目を15歳前日までに「9価ワクチン」で接種の方のみ2回)	

※1 日本脳炎1期は標準的には満3歳から接種開始となりますが、生後6ヶ月から接種が可能です。3歳前に接種をご希望の方は、品川区電子申請サービスより予診票交付申請をしてください。

※2 日本脳炎は、平成17年~平成22年まで、積極的勧奨が行われていませんでした。その間の対象年齢(平成16年4月2日から平成19年4月1日生まれ)の方は、20歳の誕生日の前日まで無料で接種を受けることができます。

※3 ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん)予防接種(HPVワクチン)は、平成25年から令和4年まで積極的勧奨が行われていませんでした。この間の対象年齢(平成9年4月2日から平成20年4月1日生まれ)の女性は、令和7(2025)年3月31日まで無料で接種を受けることができます。

任意 予防 接種	【品川区任意予防接種費用の一部助成制度】	
	品川区内の契約医療機関で、助成金額を差し引いた予防接種料金をお支払いください。	
	① 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	1歳から小学校就学前年度末までに、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の予防接種を受ける場合に3,000円を助成します。(一人2回まで)
	② MR (麻しん・風しん混合)	▶2歳から19歳未満で、定期接種を受けられなかった方へ、接種する場合に接種費用を全額助成します。(一人2回まで) ▶接種を受けるためには区が交付する予防接種予診票が必要です。品川区電子申請サービスより予診票交付申請をしてください。
	③ インフルエンザ (10月1日~1月31日)	▶生後6か月から高校3年生相当までのお子さんに対し、インフルエンザの予防接種を受ける場合に1,000円を助成※します。 ▶助成回数:12歳以下のおさんは2回まで 13歳以上のおさんは1回のみ ※助成額は変更の可能性があります。
④ 男性のHPVワクチン	▶小学6年生~高校1年生相当の男性に対し、接種する場合に接種費用を全額助成します。(一人3回まで)	

品川区保健所 保健予防課 ☎5742-9152

品川保健センター☎3474-2225 大井保健センター☎3772-2666 荏原保健センター☎5487-1314

こどもの予防接種予診票交付申請  
(品川区電子申請サービス)

予診票紛失  
転入の方は  
こちら ▶▶▶

